

精神保健福祉の理論・精神保健福祉論I			科目コード	CS3155 CS3133
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R or SR (講義)	2年以上	大橋 雅啓	



※2012年度以降入学者→「精神保健福祉の理論」(科目コード CS3155)

2011年度以前入学者→「精神保健福祉論I」(科目コード CS3133)

科目の概要

■科目の内容

精神保健福祉とは一般に、疾病を抱えた人たちのものと考えられた時から、現在では国民全体の心の健康維持・向上、そして精神障害者の社会的自立と社会参加の促進・支援を目指す諸活動をさすものと考えられています。ここでは我が国の精神保健医療福祉の沿革を辿りながら、精神保健福祉士の活動の歴史と、精神保健福祉士の成立までの経過を学びます。テキストには事例も紹介されており、精神保健福祉士の相談援助の各過程の概要も学習してください。

■到達目標

我が国の精神障害者への処遇の変遷、精神保健の法律の成立の背景が説明できる。

■教科書（「精神保健福祉援助技術各論」と共通）

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集『精神保健福祉士養成セミナー4（第6版）精神保健福祉の理論と相談援助の展開I』へるす出版、2017年 第1～6章（改訂新版でも可）

（最近の教科書変更時期）2017年4月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を必ず持参ください。旧版を所持している場合も受講に支障がないよう資料を配付します。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「自他尊重的コミュニケーション力」「他者配慮表現力」「自己コントロール力」「アセスメント力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%+スクーリング評価 or 科目修了試験50%

■参考図書

教科書記載の参考図書も参考にするとよいでしょう。

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

「精神保健福祉とは何か」「障害とは何か」を学びながら、我が国の精神障害者福祉の歴史の変遷について理解を深めていくことを目指します。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	障害者福祉の理念と精神障害の概念	ノーマライゼーション、主な精神疾患
2	精神保健福祉の歴史の変遷	精神保健福祉の沿革
3	我が国の精神保健福祉の動向	精神障害者・その家族の実際
4	精神保健福祉士の専門性と倫理	精神保健福祉士の役割と意義
5	精神障害者の人権・権利擁護	人権思想の展開
6	精神科領域のソーシャルワーク	ソーシャルワークの展開過程、専門職種との連携
7	精神保健福祉の現状	障害者支援の動向
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

講義内容にそって、配付資料も用いながら、講義を進める。

■スクーリング 評価基準

スクーリング時に話した内容についての理解を問います。

スクーリング試験90%（持込不可）＋授業への参加状況10%

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書を通読程度に眺めてください。

精神保健福祉が誰のために必要なのか？ 学んでおいてください。

我が国の精神医療事件について概観しておいてください。

レポート学習

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	障害者福祉の理念と精神障害者の人権① (第1章 Ⅰ・Ⅱ)	障害者福祉の理念と精神障害、精神障害者の人権	障害者福祉支援にあたっての視点、国連原則のポイントについて説明できるようにしましょう。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
2	障害者福祉の理念と精神障害者の人権② (第1章 III・IV)	障害者権利条約の理念、精神障害者および精神障害者	精神障害者の人権擁護、精神障害の概念、および国際生活機能分類について理解しましょう。
3	精神保健福祉の歴史と理念① (第2章 I)	精神保健福祉と精神障害者福祉	精神保健福祉とは何か、また学問的基盤について理解しましょう。
4	精神保健福祉の歴史と理念② (第2章 II)	精神保健福祉の歴史と理念	精神保健福祉の歴史の変容について理解しましょう。
5	精神保健福祉の歴史と理念③ (第2章 III)	精神保健福祉の現状と展望	各場面における現状と PSW の課題について理解しましょう。
6	精神保健福祉の領域におけるソーシャルワークの歴史① (第3章 I・II)	イギリスおよびアメリカにおけるソーシャルワークの歴史	各国のソーシャルワークの歴史を理解しましょう。
7	精神保健福祉の領域におけるソーシャルワークの歴史② (第3章 III)	日本におけるソーシャルワークの歴史	制度の変遷と国家資格化への流れについて理解しましょう。
8	精神保健福祉士の理念と意義 (第4章)	国家資格としての精神保健福祉士の意義、精神保健福祉士の専門性と倫理	国家資格制度の成立過程を把握し、求められる知識を説明できるようにしましょう。
9	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程① (第5章 I・II)	ソーシャルワークの展開過程、ソーシャルワークの面接	相談援助に使用する技術の概要について説明できるようにしましょう。
10	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程② (第5章 III・IV)	個別支援、グループを活用した支援	個別支援、グループワークの概要を理解し、テキストの事例を正確に理解しましょう。
11	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程③ (第5章 V・VI)	地域を対象とした支援、災害時における精神保健福祉士の役割	ノーマライゼーションの理念と支援にあたっての視点を学びましょう。
12	精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程④ (第5章 VII・VIII)	スーパービジョンとコンサルテーション、ケアマネジメント	スーパービジョン、コンサルテーションの意義と方法、ケアマネジメントのあり方について理解しましょう。
13	精神障害者のソーシャルワークと関連専門職種との連携① (第6章 I)	チーム医療における精神保健福祉士の役割	精神科医療における精神保健福祉士の役割を説明できるようにしましょう。
14	精神障害者のソーシャルワークと関連専門職種との連携② (第6章 II)	専門職の役割と機能	精神保健福祉士の専門性を説明できるようにしましょう。
15	精神障害者のソーシャルワークと関連専門職種との連携③ (第6章 III)	チームアプローチおよび生活支援の理念と精神保健福祉士の役割	多職種連携の意義や、精神保健福祉士の役割を説明できるようにしましょう。

■レポート課題

1 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください (Web 解答可)。
2 単位め	精神科ソーシャルワーカーの活動の歴史を述べ、自らが抱いている精神保健福祉士の仕事のイメージをまとめてください。 ※1,900字以上で記述してください (ワープロ・パソコン印字での提出が可能になりました)。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

(注)「統合失調症」は2002年以前に発行された文献では「精神分裂病」と表記されていることが多くあります。「精神分裂病」という呼び名にはマイナスのイメージがあり、差別や偏見を生み出しているのを是正するために、「統合失調症」と呼び名が変更されています。

(2018年度以前履修登録者) 2019年4月よりレポート課題の1単位めが変更になりました。『レポート課題集2018』記載の課題でも2020年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

■アドバイス

1 単位め
アドバイス

教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

2 単位め
アドバイス

①テキスト3・4章を読み、精神保健福祉士国家資格制度の成立過程を把握しながら、自分の考えも述べてください。

②教科書を熟読し、内容を深め理解することに努めてください。また、必要に応じ、教科書記載の参考書を読むことにより一層の理解につながります。

③教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することに努めてください。

④引用・参考文献は教科書も含めて3つ以上はレポートに出典明示するようにお願いします。

科目修了試験

■評価基準

- ・本科目全体の内容についての理解を問います。
- ・問題の題意に適しているかどうかを問います。
- ・解答字数は、800字以上を基準といたします。